

2020年7月30日
日本アルコール産業株式会社
代表取締役社長 小辻 良文

海外原料基地（韓国ウルサン）の追加増強について

新型コロナウイルス感染予防に伴うアルコール需要の急速な拡大に対処し、また、原料アルコール供給の不安定さに鑑み、日本アルコール産業株式会社（本社：東京都中央区日本橋小舟町6-6）は、より長期的に、より安定して原料を確保するため、韓国ウルサンのターミナル会社から、原料用のタンクを追加賃借することとしましたのでお知らせいたします。

- 賃借先：United Terminal Korea Limited
- 容量：20,000KL*1基
- 運用開始予定：2020年10月

これにより、海外原料基地としての貯蔵能力は、現行の3万KLから約7万KLへと増強され、現在建設が開始されている国内の原料タンク(1万2千KL)が完成すると、原料貯蔵用として国内外トータルで12万KLの貯蔵能力増強を実現いたします。

日本アルコール産業株式会社は事業法アルコールについて、今後とも、その安定供給に対する重責を担い、事業を推進してまいります。

